

ほ場整備地区での取組が広がっています

令和七年六月、県営ほ場
整備事業「猿田西地区」
(秋田市上北手)の事業推
進委員会において、田んぼ
ダムを紹介しました。

本地区は今年度の新規採
択地区で、令和八年度以降
に行う区画整理工事に先立
ち、近隣の四ツ小屋地区お
よび仁井田地区で取組が拡
大している田んぼダムにつ
いて、目的や構造のほか、
広域的な取組により得られ
る効果を推進委員へ説明を行
いました。(写真1)

推進委員からは、取り組
むことによる営農への影響
などについて質問が出まし
たが、県内外の事例に基づ
き、取組の有無により水稻
の品質に差は生じないこと
を説明し、理解を得ること
ができました。

これにより、本地区では
田んぼダムに取り組むこと
が決定し、大雨時における
猿田川流域の浸水被害軽減
効果が期待されます。



(写真1) 事業推進委員会での説明

流域治水協議会で 田んぼダム模型が活躍

**流域治水協議会で
田んぼダム模型が活躍**

令和七年七月八日、大仙市仙北ふれあい文化センターにおいて、第十四回雄物川圏域流域治水協議会作業部会が開催されました。

この会は「流域治水プロジエクト」に位置付けられた事業や取組を圏域内の関係機関で共有し、情報交換の場とするほか、そこで得た情報を基に圏域内で広く展開することで、流域治水活動の更なる推進や実践に繋げることを目的としています。



(写真2) 田んぼダム模型による実演

まず、県仙北地域振興局 農林部から、県・市町・土地改良区が連携し、田んぼダムの取組拡大を図つている事例を紹介し、その後に田んぼダム模型を用いた実演（写真2）で、取組による効果を説明しました。意見交換では、参加者から「これまで田んぼダムの仕組みや効果についてイメージが湧かなかつたが模型実演によつて効果や差がはつきりと分かつた。普及拡大に向けた活動に役立てたい」と田んぼダムの取組に前向きなコメントがありました。

【図1】活動組織

5割以上の実施

【図2】広域活動組織

A集落	B集落
C集落 <u>5割以上実施</u>	D集落

- 田んぼダムの取組面積
- 組織の活動範囲
- 地域活動組織における支援対象

■お問い合わせ先の電話番号
(各地域振興局農林部農村整備課)

- 【鹿角】0186-23-2243
- 【北秋田】0186-62-3900
- 【山本】0185-52-1232
- 【秋田】018-860-3394
- 【由利】0184-22-7554
- 【仙北】0187-63-6117
- 【平鹿】0182-32-9509
- 【雄勝】0183-73-6135

田んぼダム通信

【第10号】

発行者

秋田県農林水産部

農地整備課

農地整備チ-ム

TEL018-860-1824

農山村振興課

地域環境保全チ-ム

TEL018-860

Page 1

田んぼダムを始めてみませんか？

新たに田んぼダムの取組を始めるには、ほ場整備事業のほか、左表などの支援を受けることがあります。

詳しい内容等については、各地域振興局農林部農村整備課まで、お問い合わせください。

多面的機能支払交付金	
加算額	田 400円/10a (5年以上継続している活動組織は300円/10a)
要件	<ul style="list-style-type: none"> ① 資源向上支払の対象田面積で、田んぼダムを5割以上の面積で取り組むこと【図1】 ② 広域活動組織にあっては、加算措置に取り組む集落毎に田面積で5割以上取り組むこと【図2】

農地耕作条件改善事業			
助成額 (定額)	畦畔補強 14.5万円/100m	田面排水柵 4.0万円/箇所	排水路 22万円/10m
要件	① 地区内の5割以上の面積で田んぼダムを実施 ② 水田貯留機能向上計画の策定 ③ 1地区あたりの事業費が200万円かつ受益者が農業者2名以上		
備考	○ 田面排水柵は「流量調整板」も対象となる		